

村越氏田中助教授を講師に動労千葉研修講座開催さる



82.2.25

No. 977

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
(鉄電)二九三五・六(公衆)四三二二七二〇七

2月19日、労働者福祉センターに於て、動労千葉研修講座が南かれました。三月決戦状況をむかえ、動労千葉の闘う体制を理論的にも強化するものとして、各支部、本部から45名が参加し、熱心に学習しました。

申会にあたり、関川委員長は「行革・

オ二臨調の名のもとに国鉄への攻撃を強めているが、本質は闘う力を堅持している。国鉄労働運動解体の攻撃である。3.6全国労働者集会の成功と、その力を3.28三里塚へ結集させることにより、こうした攻勢を打ち破ろう」とあいさつしました。

「歴史の転換期、労働者階級の原点を堅持して闘おう」『とりまく情勢』で村越氏が講演

オ一課題として、経済学者村越敬二氏より「われわれをとりまく情勢」について講演を受けました。村越氏は、「現在が新しい時代に変わろうとする歴史の大転換期である。アメリカ帝国主義による戦後世界の支配体制が大きく崩れ始めているからだ。だがアメリカにとって変わる帝国主義は無い。アメリカの没落を生み出した原因は、ヨーロッパととりわけ日本資本主義の急激な発展にある。日本経済の行きづまりも時間の問題であり、生きのびるために労働者への搾取と収奪を強めている。すなわち、戦争のできる社会づくりにむけて、支配の側からの内乱攻撃を強めている。これと労働者人民がどう闘うかが問われ、今

「現代は、戦争と革命の時代」『帝国主義と国家論』で田中氏が講演

オ二課題「帝国主義と国家論」は、東京大学・田中助教より講演を受けました。田中氏は、レーニンの「帝国主義論」「国家と革命」を引用しながら、資本主義の発生から帝国主義段階への移行と、最終的に帝国主義戦争が不可避な仕組みについて説明されました。とりわけレーニンの洞察力の鋭さが、今日正しくも検証されている事が、今日具体的に生起する事態に照らして明らかにされました。すなわち帝国主義の時

そうあるべきで、動労千葉を中心に新しい潮流をつくり出すべきだ」とわかり易く、しかも熱烈に訴えました。

代は戦争と革命の時代であり、それは現代に当てはまること。今日、支配者が戦争へむけて歩んでいる時、労働者がどういう視点で運動を引っぱっていくのかの指針として「帝国主義論」と「国家と革命」をつかむことが必要であることが強調されました。

若干の討論の後、片岡教宣部長の「今日ほどしっかりとした情勢認識、労働者階級としての原点をつかんでおくことの重要な時代はない。動労千葉の戦力、団結力に一層みがきをかけるべく今日の理論学習を実践に生かしてほしい」との集約を受け、関川委員長の団結ガンバローをもって、役員、活動家研修講座を成功裡に終了しました。これを足場に、3.6動労千葉主催全国労働者集会の大成功かちとり、3.28に総決起しよう。

2/7 青年部ボリング大会が大成功!

2月17日、青年部団結ボリング大会が開催された。大会には、各支部から70名の青年部員が参加し、借り切ったレーンからあふれこみという嬉しい悲鳴のうちに、16チーム64名が、日頃の腕を競いあった。成績は次の通り。

- 二位 成田Aチーム(ノ、二〇八点)
- 「越川・吉田・小林・太田」
- 三位 幕張Aチーム(ノ、一八六一点)
- 「小柴・鈴木・江沢・宮沢」

個人賞 優勝・小柴光(幕張)
(3ゲームトータル158.3点)

チーム 優勝 千葉Aチーム(ノ、二五五.6点)
「市原・鶴岡・加田・鈴木」

二位 吉田英樹(成田)58.1点、三位 君塚作治(幕張)55.8点、小柴光(幕張)54.6点